



浜松オペラ合唱団主催

ヴェルディ作曲 オペラ

イル・トロヴァトーレ

～ピアノ伴奏 原語上演・日本語字幕付き～

2017年9月10日(日)

13:30 開場

14:00 開演

浜松市勤労会館 Uホール

助成事業

(公財)浜松市文化振興財団

(公財)ましん地域振興財団

(公財)静岡県文化財団「ふじのくに文化プログラム推進事業」

ご挨拶

浜松オペラ合唱団団長 石原由美

本日は、浜松オペラ合唱団主催オペラ『イル・トロヴァトーレ』公演にご来場いただき、誠にありがとうございます。

浜松オペラ合唱団は、第1回市民オペラ「カルメン」を契機として1991年に発足以来、オペラ愛好者のすそ野を広げるべく、初心者にもわかりやすく楽しんでいただけるオペラ公演を目指し活動してきました。

また、市民オペラや各種コンサートに積極的に取り組みながらも、常に全幕オペラの主催公演という、経済的にも技術的にも、アマチュア合唱団としてはかなりハードルの高い目標を持ち続けてまいりました。

本日、イタリアオペラの代名詞とも言うべきヴェルディの代表作「イル・トロヴァトーレ」を上演できること、この上ない喜びです。未熟な私たちを辛抱強く、本当に辛抱強く、かつ深い愛情をもってご指導下さった芸術監督の村上先生はじめ、この企画にご賛同下さった指揮者、ソリスト、スタッフの皆様、そしてご協力いただいたすべての方々に心より感謝申し上げます。

舞台セットから衣装、小道具に至るまで、私たちの想いがこもった手造りです。どうか、最後までごゆっくりとお楽しみいただけましたら、団員一同幸せでございます。

ご挨拶

芸術監督 村上達哉

本日は『イル・トロヴァトーレ』公演にお越しいただきまして、心よりお礼を申し上げます。

浜松市が音楽の都市宣言をし、オペラもその中心の一つとして、今まで様々な演目が市民を巻き込んで上演されてきました。

近年、市民オペラが全国的に盛り上がりを見せているなか、浜松は逆に公演間隔が開くようになり、その力を持て余していると感じております。

そんな中、この血氣盛んな浜松オペラ合唱団は独自で公演を摸索し、『椿姫』(浜松オペラ研究会共催)に続きこの大曲『イル・トロヴァトーレ』の上演を決断いたしました。

今回は、地元静岡と関わりのある藤原歌劇団の方々にも力を借りて、2年を掛けて取り組んで参りました。また、「オペラの舞台も全て自分たちで作ってしまえば！」と、今回も自前で製作し、ホール(スタッフ)とお客様さえいれば何時でも公演できてしまう！というところまで成長して参りました。

本日は、ヴェルディの醍醐味であります声の饗宴に加えて、全て手作りの舞台や衣装、そして男声合唱の多いこのオペラを混声でやってしまう（女性も兵士の役を演じる）という勢いも楽しんでいただけましたら幸いです。

このオペラを機会に多くの仲間が増えることも密かに願いながら、これから舞台に全力を捧げたいと思います。（合唱団練習日：毎週金曜日 19時～ 団員募集チラシをご覧ください）

オペラ「イル・トロヴァトーレ」

ピアノ伴奏 原語上演・日本語字幕付き

作曲：ジュゼッペ・ヴェルディ

台本：サルバトーレ・カンマラーノ

(レオーネ・エマヌエーレ・バルダーレ補筆)

原作：アントニオ・ガルティス・グラティエス

『エル・トロヴァドール』

出演

マンリーコ	(吟遊詩人、アラゴン王国の騎士)	村上 達哉
レオノーラ	(アラゴン王妃に仕える女官)	岡本 実佳
ルーナ伯爵	(アラゴン王国の貴族)	月野 進
アズチーナ	(ジプシーの女、マンリーコの育て親)	田島 葉子
フェランド	(ルーナ伯爵家に仕える家臣)	大石 陽介
イネス	(レオノーラの侍女)	有賀 美聰
ルイス、使者	(マンリーコの部下)	金城 邦男
ジプシーの男	(ジプシーの長)	鈴木 智之
合唱		浜松オペラ合唱団

スタッフ

芸術監督	村上 達哉
指揮	村上 裕昭
ピアノ	戸塚 範子
音楽スタッフ	田端 のりこ 三浦 広彦 河辺 智美
舞台監督	狩俣 進
照明	狩俣 亜郷 (シアターPPP)
舞台スタッフ	シアターPPP 市川 直人 高原 真代 山下 直美
ヘアメイク	平塚 淳子
記録	志村 憲宏
字幕協力	山本 達郎

物語の舞台とあらすじ 「15世紀スペインのアラゴン王国とビスカヤ山中での物語」

15世紀はじめ スペイン北部のアラゴン王国

1410年のアラゴン王マルティン1世の死去から3年ほど続く王位継承争いが物語の背景となっている。

有力な候補者、カスティーリャ王子フェルナンドとウルジェル伯爵（史実ではウルヘル伯爵）が対立。

1412年にあった「カスペの妥協（会議）」でフェルナンドに王位継承が認められるが、承服できないウルジェル伯爵が挙兵、アラゴン王国全土を巻き込んで各地で激しい戦いが繰り広げられていく。

最終的にウルジェル陣営の敗北に至る過程に沿って、ルーナ伯爵（フェルナンド側）とマンリーコ（ウルジェル伯爵側）の対立に親子、恋人のドラマが絡み合った物語が進んでいく。

スペイン、サラゴサに実在するアルハフェリア宮殿（作中アリアフェリア宮殿）から舞台の幕開けです…

第1幕 決闘

1場 <アリアフェリア宮殿の大広間>

従者や警備兵たちにせがまれ、隊長フェランドが昔話を始める。

「先代のルーナ伯爵には2人の息子がいらした。弟君ガルツィア様に呪いをかけた容疑でジプシーの老婆を火刑に処したが、その後弟君が行方不明となり、火刑台から焼けた子供の骨が発見された。老婆の娘の復讐か…。」

だが父君はその骨が弟君であるとは信じず、兄君である当代の殿に弟君を探し続けることを求め亡くなられた。殿は今でもその行方を捜している。」と。

突然真夜中を告げる鐘がなり、一同は恐怖に慄く。

2場 <夜更けの宮殿の中庭>

アラゴン王妃の女官レオノーラが、侍女イネスに、かつて武術試合で優勝し自分が冠をかぶせた騎士が吟遊詩人（トロヴァトーレ）として現れ、彼に恋をしてしまったと話す。イネスは不安を感じ忠告し、二人は居室へ戻っていく。

レオノーラに想いを寄せるルーナ伯爵が現れ、熱い思いを吐露する。

吟遊詩人の歌が聞こえ、戻って来たレオノーラだが暗闇に見間違えルーナ伯爵に駆け寄る。

そこに吟遊詩人が現れ、間違いに気づいたレオノーラは吟遊詩人に詫び、愛を誓う。

嫉妬に激怒したルーナ伯爵は恋敵の名前を尋ねる。吟遊詩人は「マンリーコ」と名乗る。敵方ウルジェル伯爵の騎士が恋敵でもあったのだ。

二人は決闘になり、レオノーラはあまりのことに気を失ってしまう。

第1~2幕 幕間

決闘で勝利したマンリーコだが、不思議な感覚に襲われルーナ伯爵にとどめをさす事ができない。

数か月後、ペリリヤで大きな戦いがあり、マンリーコは生死不明となっていたが、密かにアズチーナに助け出され回復に向かっていた。

※ おことわり

「ジプシー」の呼称は蔑称にあたるとの解釈から、近年では、自称されている「ロマ」と表現されています。本公演におきましては、作品の制作時期とそれに伴う対訳を尊重し、「ジプシー」の呼称を使用しますこと、おことわり申し上げます。

第2幕 ジプシーの女

1場 <ビスカヤ山中>

ジプシーの一団が鍛冶の仕事に精を出し、陽気に酒を酌み交わし歌っている。

アズチーナが、火焙りにされた女の悲痛な光景を歌う。さらに、マンリーコに歌の題材となった昔話を始める。「母親が火刑に処せられた時、自分は伯爵の子供を誘拐して火にくべた。しかし気付いてみるとそれは自分の実の息子だった。」

マンリーコは「自分は母の子ではないのか」と、自分の出自を訝しく思う。

アズチーナは「お前はあたしの息子だよ。伯爵に復讐しておくれ。」と焚きつける。

そこに伝令が、戦闘の経過と「マンリーコが落命した」と思い込んでいるレオノーラが、今夜修道院に入る。」と伝言を届ける。

マンリーコはアズチーナの制止を振り切り、修道院へ向かう。

2場 <カステロール城近くの修道院>

ルーナ伯爵がフェランドや従者たちと共に忍び込んでくる。レオノーラを待ち伏せし、彼女が祭壇へ着く前に拉致するつもりだ。

修道女たちと出てきたレオノーラを伯爵たちが拉致しようとした時、死んだと思っていたマンリーコが現れる。

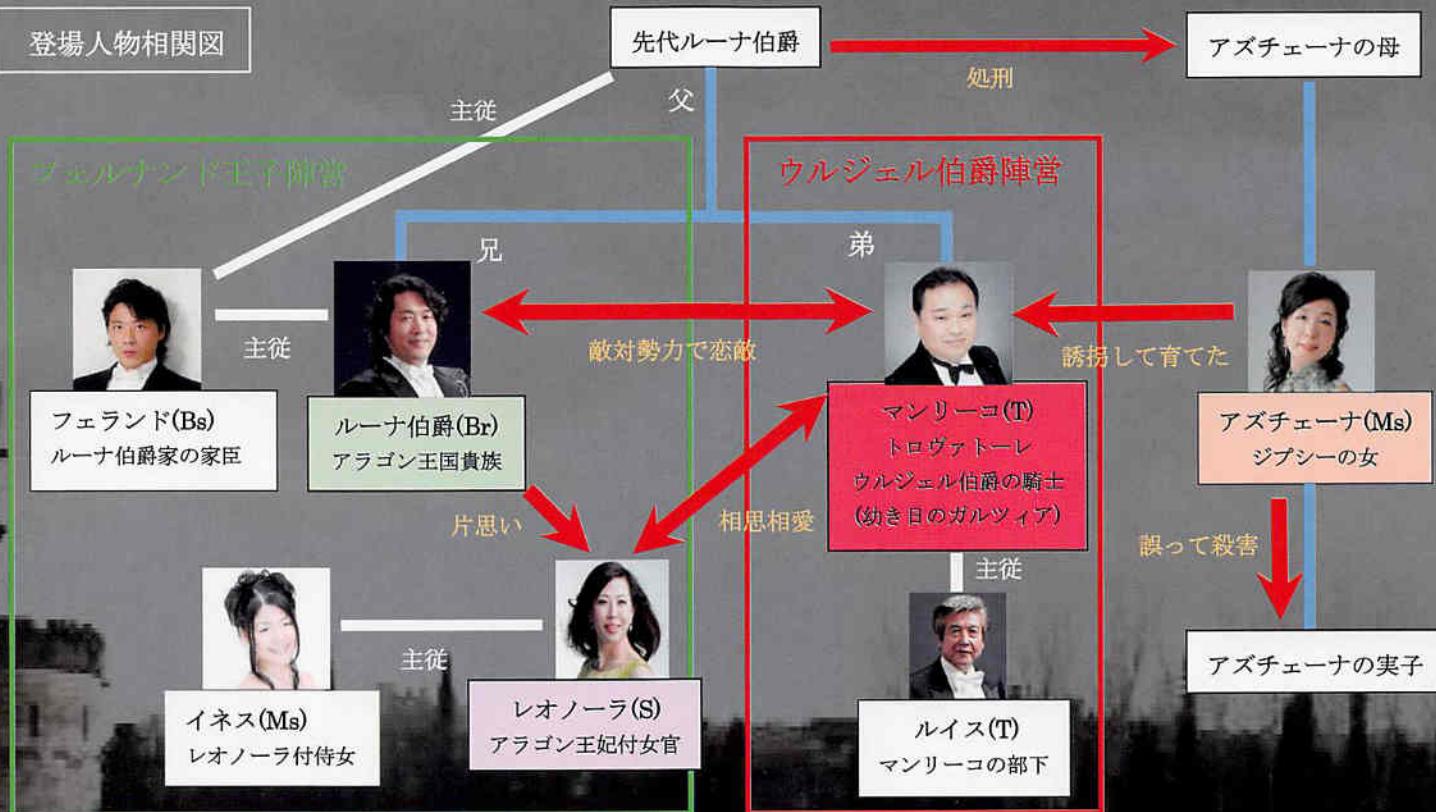
ルイスと兵士たちが伯爵たちを取り囲み、マンリーコは喜ぶレオノーラと逃げ去る。

伯爵は激怒し、復讐を誓う。

第2~3幕 幕間

攻略したカステロール城を任されたマンリーコだが、次第に形勢は不利になり、ルーナ伯爵軍によって包囲されてしまう。

登場人物相関図



第3幕 ジプシー女の息子

1場 <ルーナ伯爵の陣営>

兵士たちがカステロール城攻略に向け気勢を上げている。

そこにフェルナンドが怪しいジプシーの老婆、アズチェーナを捕らえてくる。

伯爵は彼女を尋問するうち、彼女が弟をさらったジプシーであり、恋敵マンリーコの母親であることも知り、復讐の好機と喜ぶ。

2場 <カステロール城内>

マンリーコが、明日にも行われる戦闘を前にレオノーラと礼拝堂で結婚式を挙げようとしている。

そこヘルイスが、アズチェーナが火刑にされると知らせに来る。

マンリーコは怒りに燃え、母の救出と伯爵への復讐を誓い、ルイスと兵士たちを率い進軍する。

第3～4幕 幕 間

戦いは伯爵軍の勝利に終わり、カステロール城は陥落。マンリーコはアズチェーナとともにアリアフェリア宮殿に送られ、牢獄の中で処刑を待つ身となる。

第4幕 処刑

1場 <アリアフェリア宮殿>

マンリーコを救いに来たレオノーラは、彼が幽閉されている塔を見つめ、彼への思いを歌う。

死者の弔いの鐘が鳴り、祈りの声が聞こえる。

レオノーラが立ち去ろうとすると、塔の中からマンリーコの嘆きの歌声が聞こえてくる。

伯爵が現れ、従者にマンリーコとアズチェーナの処刑を命じる。レオノーラは伯爵に、我が身と引き換えにマンリーコの命を救うことを願う。

伯爵はそれを受け入れ処刑の中止を命じるが、レオノーラは隠していた毒薬を飲む。

2場 <宮殿内の牢獄>

マンリーコは怯えるアズチェーナを慰め、寝かせる。

そこへレオノーラが現れマンリーコの解放を告げるが、マンリーコは彼女が恋敵に愛を売ったと非難する。しかし、レオノーラは飲んだ毒が効き始め、倒れる。

真相を知ったマンリーコは、後悔し神に祈るが、レオノーラはマンリーコに抱かれて息絶える。

ルーナ伯爵は自分が欺かれたことを知り、マンリーコの即時処刑を命令する。

目覚めたアズチェーナは伯爵にマンリーコの処刑を告げられると、「あれはお前の弟だ！復讐は成った、母さん！」と狂乱の叫び声を上げる。

伯爵は恐怖のあまり立ちつくす。

物語の先

ウルジェル伯爵は敗北し、マルティン王の血縁という名門であったが全てを失う。

同じく血縁があるとはいっても、隣国カスティーリヤの王子フェルナンドがアラゴン王として即位。

しかし、この事が後にアラゴン、カスティーリヤの統一に繋がり、スペイン統一へ。さらに同じくヴェルディ作曲の「ドン・カルロ」の時代へと続いている。オペラ作品を通じて歴史のロマンを感じられそうです…

指揮 村上裕昭

国立音楽大学声楽科卒業。
同大学大学院オペラ科修了。
1988~91年ミラノに留学。
声楽を田島好一、ドメニコ・
ヴェルサーチ、作曲をアルベルト・
ソレジーナ、指揮を岡本仁
の諸氏に師事。
藤原歌劇団正団員。
日本演奏連盟会員。
日本音楽著作権協会準会員。



芸術監督

マンリーコ 村上達哉

国立音楽大学声楽科卒業。
田口興輔氏に師事。アイーダ、
蝶々夫人、椿姫、ラ・ボエーム
など多くのオペラの主役にて出演。
静岡県オペラ協会会員。
静岡室内歌劇場団員。
柴田音楽事務所所属。
藤原歌劇団正団員。



ルーナ伯爵 月野 進

武蔵野音楽大学卒業。同大学
大学院修了。
第8回「静岡の名手たち」オ
ーディション合格、第29回練
馬文化センター新人演奏会オ
ーディションにて、最優秀賞受賞。
第45回日伊コンクール入選。
藤原歌劇団団員。



フェランド 大石陽介

香川県出身。東京藝術大学音
楽学部声楽科卒業、東京学芸大
学大学院教育学研究科音楽教育
専攻科修了。多数のオペラの他、
第九やレクイエムのコンサート
にソロ出演している。
静岡県オペラ協会会員。
静岡室内歌劇場団員。



ルイス、使者 金城邦男

第3回浜松市民オペラ「三郎
信康」より浜松オペラ合唱団で
活動し、その後の市民オペラに、
また県民オペラでは「蝶々夫人」
「イリス」に参加。ソロ活動で
は浜松オペラ研究会主催の「椿
姫」でアルフレード役を演じる。
浜松オペラ研究会会員。
浜松オペラ合唱団団員。



ピアノ 戸塚範子

武蔵野音楽大学器楽学科専攻
ピアノ卒業。
全日本演奏家協会新人オーデ
ィション合格 同推薦コンサー
トに出演する他、数々のオペラ
やミュージカル、声楽セミナー
等にて伴奏を担当。
浜松シティオペラ協会会員。
静岡室内歌劇場団員。
常葉大学非常勤講師。



レオノーラ 岡本実佳

武蔵野音楽大学声楽科卒業。
イタリアミラノ音楽院にて6年
間研鑽をつむ。リナ・ヴァスター、
ルーカ・ゴルラ諸氏に師事。
フィガロの結婚、カルメン、
ラ・ボエームなど多数のオペラ
に出演。
藤原歌劇団正団員。浜松市在住



アズチエーナ 田島葉子

国立音楽大学卒業。同大学大
学院修了。日本オペラ振興会
オペラ歌手育成部修了。
1988~91年ミラノに留学。
アルベルト・ソレジーナ、マリ
ア・ミネット、マルゲリータ・
グリエルミの諸氏に師事。
藤原歌劇団正団員。



イネス 有賀美聰

ヘンゼルとグレーテル、愛の
妙薬、魔笛、蝶々夫人、椿姫、
アイーダ、ラ・ボエーム、浦島
太郎 等のオペラに出演の他、
多くの演奏会に出演。
浜松シティオペラ協会会員。
静岡室内歌劇場団員。
浜松声楽研究会会員。



ジプシーの男 鈴木智之

市民オペラ「ラ・ボエーム」
から浜松オペラ合唱団に加入、
オペラやコンサートに多数出演。
浜松オペラ研究会加入後声楽の
勉強を始める。
浜松シティオペラ協会会員。
浜松オペラ合唱団員。
浜松オペラ研究会会員。
浜松オペラセミナー受講。



主催 浜松オペラ合唱団

1991年、第1回浜松市民オペラを契機に発足。
以後、第2回～第7回まで全ての市民オペラに合唱として出演。

オペラ愛好者のすそ野を広げるべく、初心者にもわかりやすく楽しんでいただけるオペラ公演を目指しています。

自主公演でのオペラやコンサート活動のほか、他団体のオペラ、コンサートへの合唱参加や共催公演も行っています。

市民オペラ参加

第1回「カルメン」

第2回「椿姫」

第3回「三郎信康」

第4回「三郎信康 再演」

第5回「魔笛」

第6回「ラ・ボエーム」

第7回「ブラック・ジャック」

オペラ、コンサート出演

「椿姫」

「こうもり」

「カヴァレリア・ルスティカーナ」

「カルメン・イ・カルメン」

「浜フィルニューイヤーコンサート」

「はましんファミリーコンサート」

ほか多数



浜松オペラ合唱団 出演者

ソプラノ

石原由美 市川祐子
百鬼由希子 褒田恵子

大場好子
米山秋子

小川アイシェ 兼平蘭子

金城好子 鈴木佳代

アルト

和泉奈緒子

岡本喜久巳

川村有香

北山素子

中村節子

野寄慈子 山下令子

テノール

賀来審爾

河合秀明

金城邦男

齋藤正芳

西沢和徳

根来 哲

ベース

鈴木智之 千葉雅之

ジプシーの子供

小山莉奈

合唱指導

村上達哉

大石陽介

大石真喜子

岡本実佳

練習ピアニスト

田端のりこ

制作協力

シアターPPP

ご協力下さった皆様

栗倉 和代	石原 信也	岡本 武重	河合 秀夫
煙山 誠	小森 美穂	鮫島 望	鈴井 幸子
鈴木 将弘	鷺見 誠一	袴田 泰英	宮沢 孝史
村松 安英	吉井 明代	浜松オペラ研究会	

製作会場協力

平野友重郎
シアターPPP
㈱ネオテクスズキ

(以上敬称略)

後援

浜松市
静岡新聞社・静岡放送 中日新聞東海本社
K-mix FM Haro ! ウィンディ

協賛

静岡県知事免許 (11)-4430号

サンケイ六原有有限公司

〒433-8102 静岡県浜松市北区大原町 145-19

T E L . 053-436-7511 F A X . 053-436-7512

<http://www.e-hamamatsu.net/sankei/>